

エレクトーンの音色がこれほど自然だったとは！

これほど圧倒的な表現力を持っていたとは！

神田将の演奏、その最初の一音で

新たな音楽の世界が広がります



松本 昌子 神田 将

Profile

カンダ ユキ

神田 将 エレクトーン奏者

1967年生まれ。東京都出身。たった1台のエレクトーンでフルオーケストラに迫るサウンドを奏で、電子楽器の常識を覆したエレクトーン奏者。とくにクラシック作品の演奏を得意とし、カザルスホールなどのクラシック音楽専用ホールでのリサイタルを2006年以来続ける。毎年、100回を超えるコンサートに出演しており、一音ごとに魂のこもった演奏と心に沁み込むトークを織り交ぜたコンサートスタイルで、クラシックファンのみならず幅広い層から好評を博している。2001年10月には、IMC（国際音楽評議会）総会の初の日本開催にあたり東京芸術劇場で催された記念演奏会に出演し、世界各国の音楽関係者から高い評価を受けた。2009年、2010年には中国上海国際芸術祭に出演、2009年から仙台クラシックフェスティバルに連続出演、2013年と2014年には霧島国際音楽祭に出演。これらはエレクトーン演奏家として史上初の快挙となった。また、ソロの演奏活動にとどまらず、ソプラノのサイ・イエングアンや二胡の姜建華をはじめとしたクラシック界のトップ・アーティストとも数多く共演し、その卓越した音楽性は世界的オペラ演出家ミハヤエル・ハンペにも絶賛された。公演の音楽監督、作編曲、演出の手腕にも定評があり、一流演奏家たちからの信頼も厚い。そのほか、全国の小中学校への訪問コンサートを通じ、子供たちに音楽の真価を伝えるための活動も積極的に行なっている。

マツモト マサコ

松本 昌子 元劇団四季

東京都出身。桐朋学園大学を経て、約12年間 劇団四季に所属。「ライオンキング、アイダ、ウィキッド」等、多数のミュージカルに主要キャストとして出演。数々の作品のCDレコーディングキャストを務める他、出演の傍ら出演俳優のコーラスや発声法の取りまとめ、ライオンキングでは子役育成チームとしてオーディション審査員を務める。総ステージ数は2500ステージを超える。退団後は各地での演奏活動を行う他、ボイストレーナーとして歌や台詞のサポートにより、劇団四季オーディション合格者を含むミュージカル界の後進を育てている。